



実際に、千軒太鼓、魁伝太鼓、ちりめん太鼓、交通事故無くし隊、琉球舞踊、大勢の市民アーティストのみさんのライブを拝見して志布志発の文化のクオリティーの高さ、演目の多彩さにあらためて驚きます。市の大きさに比べてその活動の活発さはかなり大きく感じます。こういう一つ一つの現場に目を向けて、心あるパフォーマーを紹介していくことはシシガーデンにとっても大切なことです。瞬間にかける気持ちや想いの質量にはプロもアマも関係ありません。文化を作り出すには、人の数や予算ではなく、たった数人の想いと行動が次世代につながるシーンを生み出すことが多々あります。それをできるだけたくさん、分かりやすい形で、色々な伝え方で内外に、次の世代に伝えたいと感じます。そして、志布志の文化やお祭りを支える大きな原動力、基盤になっているのはやはり「食文化」であると思います。今回の国文祭でも販売された志布志の絶品のどんぶり、の数々は自然の恵みのもと、まさに代々紡いでこられた志布志の食文化の祭典で、これこそ志布志を活性化させる大きなツールになると思います。とにかく「美味しい」の一言につきますが、賞を獲られた「まるちゃんラーメン」



「食の聖地」志布志の絶品どんぶりを紹介!!
ご存知 志布志の激ウマどんぶり!!あなたはいくつ食べたことがありますか!!?

志布志市の総合戦略も発表され、今後の人口増加と産業の発展は大きなテーマでありますが、食文化とお祭りをはじめとした皆さんのクリエイティブな活動は、間違いなくそのきっかけになると今回の国民文化祭を取材させていただいた中で確信いたしました。われわれ、シシガーデンも微力ながらそのお手伝いをさせていただきたいと思うばかりです。シシガーデンメディアプロデューサー 安田潤司

ン」さんに遠くから大勢の方が食べにくるようになり、美味しい食べ物のためには労を惜しまないのが人間で、これだけたくさんの絶品どんぶりがあるのですから、その美味しさ、安全さをしっかりと市外の方にも伝えられれば志布志がもっと素敵なまちであることを知ってもらえると思いました。シシガーデンでは今後、志布志の食文化にもフォーカスしてたくさんの方に知ってもらうべく、番組や記事に取り組んでいきますので、「この料理が美味しい」「こんなに美味いお店がある」など、あらためてみなさんのお話を伺い特集へ映像作品にいたします。

「志と文化のまち志布志」

Shibushi Brands News



シシガーデン: <http://sisi-garden.com/>

シシペディア: <http://sisipedia.sisi-garden.com/>

問 本庁 企画政策課 地方創生推進室 (シシガーデン事務局) Tel: 474-1111 (内線 254)



11月上旬、かごしま国民文化祭 志布志ウィークがあり、シシガーデンでも事前告知番組、生中継番組、告知記事などで参加させていただきました。しかしこの記事を書いている締切日の今日、実はまだ国文祭開催直前で内容は見られていません。ですが準備段階から見せていただいていたのは、年齢に関係なく、文化やクリエイティブな活動に市民の皆様がとて積極的であったこと、そしてさらに一つ一つのクオリティーがとて高く、独創的であることをあらためて感じさせていたっています。

10月に放送した「志布志市国文祭直前番組」では志布志のクリエイティブシーンを支えてくれた国民文化祭の担当者や映像クリエイターであり、国文祭のオープニング歌舞劇「志の地の物語」のプロデューサーでもあるスタジオ・フィルスの高橋健太郎さんのトークを放送しました。国民文化祭担当者が日頃から自ら音響システムを抱えて小さなイベントを大切にしている話や志エッセイフェスティバルの朗読コンテストにちなんで自ら自費出版で本を出した話を聴いて、とても驚きました。一方、高橋さんは424というオリジナルファッションブランドを展開していて、歌舞劇のキャストやスタッフが来ていたTシャツのデザインまでプロデュースしていました。

取材をしていて知ったのは、志布志の文化を支えている各市民団体の方々や本田市長を筆頭とした行政のみならず、現場を大切に守ってきた方がたくさんいるからこそ、志布志からたくさんのクリエイティブなものが生まれていることもうなづけます。